

保存版 呉市土砂災害

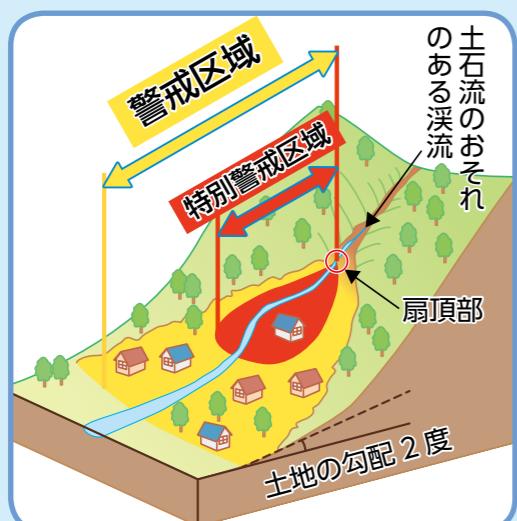
ハザードマップ

〈仁方地区〉

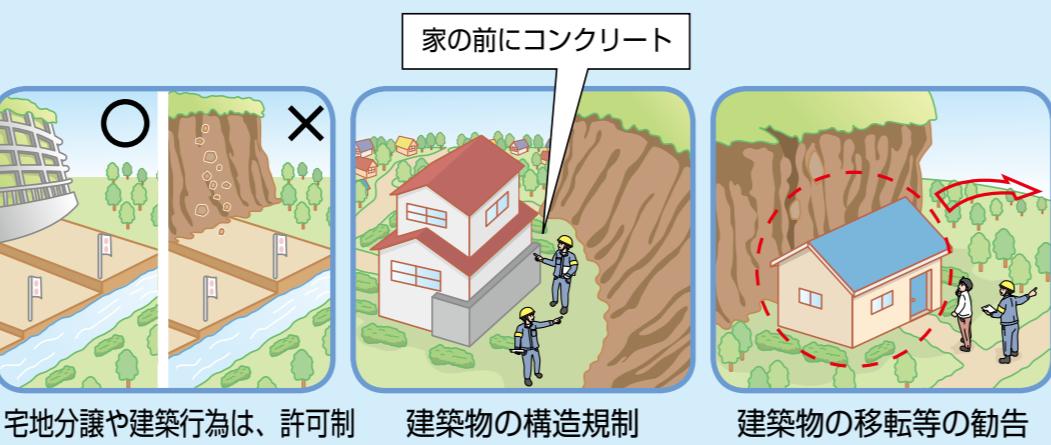
発行：呉市総務部 危機管理課
呉市中央4丁目1-6
TEL0823-25-3326（直通）
Email: kurekiki@city.kure.lg.jp
制作:平成28年3月

土砂災害防止法とは

土砂災害（かけ崩れ、土石流）から市民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれがある区域を指定し、警戒避難態勢の整備や一定の行為の制限を行うものです。



土砂災害特別警戒区域に指定された場合



災害から身を守るために(大雨の場合)

気象庁による気象情報

雨が強くなると…

大雨注意報

大雨が降り続くと…

大雨警報

さらに激しい雨が続くと…

大雨特別警報

- 大雨により建物の浸水や崖崩れなどの土砂災害の発生が予想される状況です。最新の情報に注意して、非常用品や避難所、避難ルートを確認し、早めの避難を心掛けましょう。
- 大雨により建物の浸水や崖崩れなどの重大な災害の発生が予想される状況です。災害が発生する前に、早めに避難を行いましょう。
- 台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される状況です。

【ただしに命を守る行動をとってください！】

インターネットでの防災情報

○気象情報について

広島県防災 web

<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/index.jsp>

○土砂災害警戒区域等の確認について

土砂災害ポータルひろしま

<http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal/map/kiken.aspx>

災害に備えて

どう避難すればいいの？

大雨・洪水の時はこうじて避難

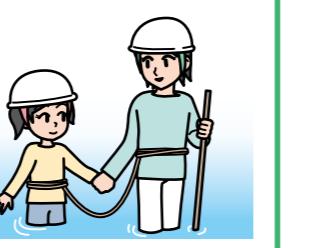
●足元に注意

水中の溝等に注意し、長い棒を杖代わりにして確認しましょう。道路は出来るだけ真ん中を歩きましょう。



●ロープにつながって

小さい子供などは大人とロープで体をつなぎましょう。



その他避難の時に注意すべきこと

●家に避難先、安否状況のメモを残す



避難するときの服装のポイント

- ヘルメット等
- 長そで、長ズボン
- 長靴は水が入るとかえって動きづらくなるので×、水中でも脱げにくく歩きやすいひも靴は○
- 軍手、手袋
- 非常持ち出し袋

●子供やお年寄りを安全に

足の不自由なお年寄りは背負い、小さい子供はベビーバスに載せる方法もあります。



●ひざ上まで水につかると歩きにくくなります。

洪水の中での避難はできるだけ避けましょう。歩ける水の深さは50cm程度が限度です。



●危険なところは避ける



土砂災害に備えて

雨の強さと降り方

大雨・洪水注意報

大雨・洪水警報 (土砂災害警戒情報)

大雨特別警報

10ミリ～20ミリ やや強い雨

地面からの跳ね返りで足元が濡れる。



20ミリ～30ミリ 強い雨

どしゃ降りで、傘をさしても濡れる。



30ミリ～50ミリ 激しい雨

バケツをひっくり返したように降る。寝ても雨の音に気付く場合がある。



50ミリ～80ミリ 非常に激しい雨

ゴーゴーと滝のように降り、低地では、道路冠水などが始まる。



80ミリ以上 猛烈な雨

息苦しくなるような圧迫感があり、大規模な災害が発生する可能性がある。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、広島県と広島地方気象台が共同で発表する情報で、今すぐに土砂災害が発生してもおかしくない状況です。



非常持ち出し品・備蓄品の用意

いざというときは、すぐに避難しなければなりません。そのようなときに備えて、非常持ち出し品などを常備し、リュックサックなどにまとめておきましょう。

持ち出し品が多すぎると避難が大変です。
目安は男性で15キロ、女性で10キロ程度です。



食品・水

乾パン、缶詰など火を通して食べられる物やミネラルウォーターなど。

救急用品

パンソウコウ、傷薬、包帯、常備薬など。

衣類など

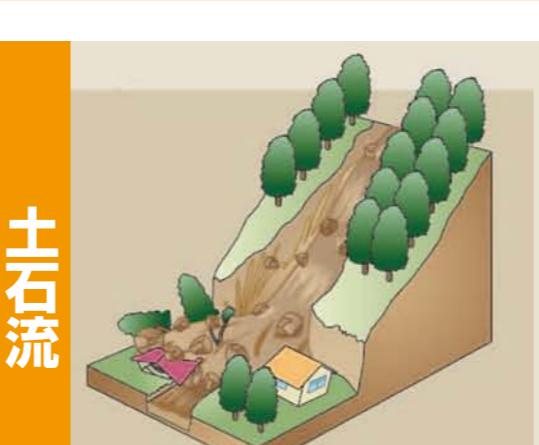
下着、上着、タオル、毛布など。

その他

歯ブラシ、石けん、メガネ、手袋、貴重品など。

土砂災害と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ土石流やかけ崩れといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るために、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、呉市へご連絡ください。



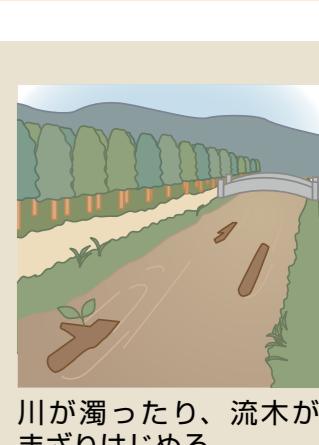
渓流の谷筋から水を含んだ大量の土砂や巨大な石が一気に流れています。



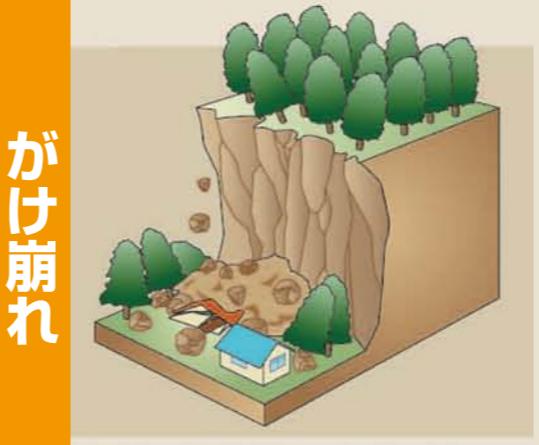
雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。



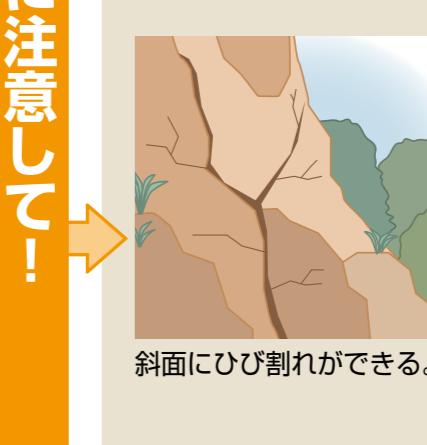
地鳴りの音が聞こえてくる。



川が濁ったり、流木がまざりはじめる。



大雨や長雨、地震などの影響で、急なかけ地や山の斜面が突然崩れ落ちてきます。



斜面にひび割れができる。



わき水の量が増える。



がけ崩れが入る。がけから小石が落ちてくる。

災害備蓄品

災害発生時から混乱が収まるまでの間、自ら生活できるように日ごろから準備しておきましょう。

食 品

レトルトのごはん（クラッカー・カンパンなども便利です）、缶詰、葉子類

水

飲料水は1人1日3リットルが必要になります。

燃 料

卓上コンロ、固体燃料、予備ボンベなど。

お年寄り・乳幼児用食品

粉ミルクや離乳食、流動食、おかゆなど。

